

## ～廃棄物事業を先端産業へ～

昭和26年の創立以来、永年にわたって廃棄物処理に携わってきた当社は、これまで裏方のイメージで捉えられがちだった廃棄物処理を時代の先端産業と考え、適正処理とリサイクルに関する新技術、新手法を積極的に取入れています。

リサイクル施設の設立・運営はその一環であり、また、環境に関するISO14001及び情報セキュリティに関するISO27001の認証取得を通じ、多様なニーズにきめ細かくお応えしながら、快適でクリーンな、住みよい環境づくりを推進し、循環型社会形成及び安心・安全な情報化社会形成へのより一層の貢献を目指しています。

### 「トピックス」

1. 当社の仕事
2. 本業としての取組み  
[環境面]
3. 従業員・地域と共に  
[社会面]
4. 今後に向けて

### 問われ始めた廃棄物への企業責任

本格的循環型社会に向けた  
排出者責任の拡大

地球環境汚染に関する  
懸念の深刻化

情報社会の中で、  
機密漏洩への不安増大

### 三東運輸の適正・確実な処理

三位一体の一貫体制

収集

運搬

処分

柔軟な収集対応

迅速・正確な運搬

徹底した再資源化

適正・確実な処分

### 三東運輸がご提供する3つの貢献

■本格的な循環型社会における  
企業責任への寄与  
■情報化社会における  
機密漏洩防止

社会的な  
貢献

環境への  
貢献

お客様への  
貢献

■顧客の企業環境へのきめ細かな対応  
■地球環境の保全に向けた自負の醸成

■排出方法から、法的  
処理責任まできめ細  
かなサポート  
■契約書・マニフェスト  
など書類作成の円  
滑化

廃棄物処理の企業責任が注目されるようになった今日、当社では、お客様に安心して産業廃棄物・事業系一般廃棄物の処理をご依頼いただくため、以下のような適正処理方法を掲げ、企業のお客様をごみ処理面からサポートさせていただきます。

### 「三東運輸の3つの貢献」

#### ◇お客様への貢献◇

- ・ 適正・確実な処理実績
- ・ 柔軟な収集対応
- ・ ISO14001/ISO27001  
認証取得

#### ◇社会的な貢献◇

- ・ 交通安全
- ・ 情報化社会で機密処理
- ・ 地域社会との連携

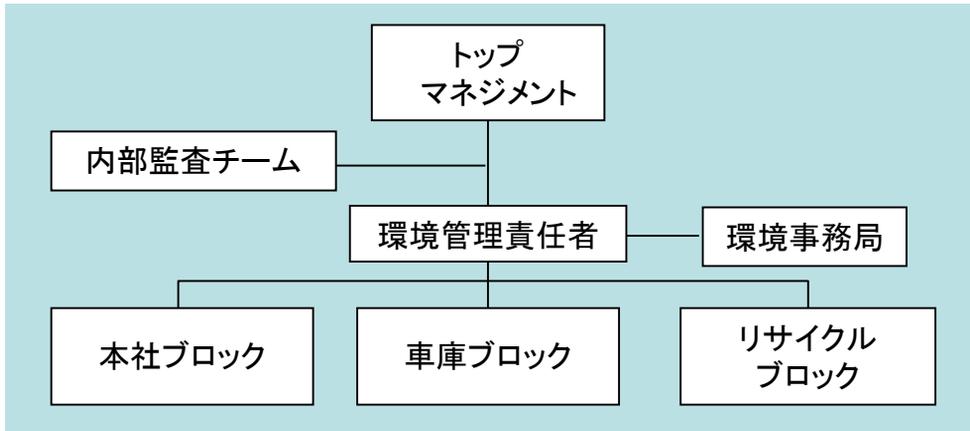
#### ◇環境への貢献◇

- ・ 徹底した再資源化
- ・ 迅速・正確な運搬
- ・ 地域美化への貢献

# 本業としての取組み [環境面]

## 「環境への推進体制」

全社で環境の取組み推進するために、ISO14001環境マネジメントシステムを導入し、PDCAサイクルを活用した運用を行っています。また、第三者機関の外部審査による認証を受けています。



EMS548183/  
ISO14001:2004



## 「環境配慮への取組み状況」

### 【収集・運搬業務】

収集・運搬業務では、事故防止の取組みをはじめ、省エネ運転に努め、デジタルタコメーターの分析等により燃費向上・低公害（NOx:窒素酸化物の削減）を図っています。また、低公害車の導入を2016年度末までに70%以上の目標達成を目指しています。

車両の環境配慮	2012年度	2013年度	2014年度	2006年度
ガソリン燃費向上率 (燃費)	+8.5% (9.94km/ℓ)	+14.0% (10.44km/ℓ)	+19.6% (10.96km/ℓ)	— (9.16km/ℓ)
排気ガスNOxの削減率 [軽油/LPG/CNG](NOx排出量)	-57.6% (2.29kg/台)	-63.5% (1.97kg/台)	-68.7% (1.69kg/台)	— (5.40kg/台)
低公害車導入向上率 (低公害車導入率)	+12.6% (20.5%)	+27.3% (35.2%)	+35.2% (43.2%)	— (2011年度比 7.9%)

※低公害車導入率は第3期5か年計画(2011年度～2015年度)の期間を掲載

### ◆目標達成への計画◆

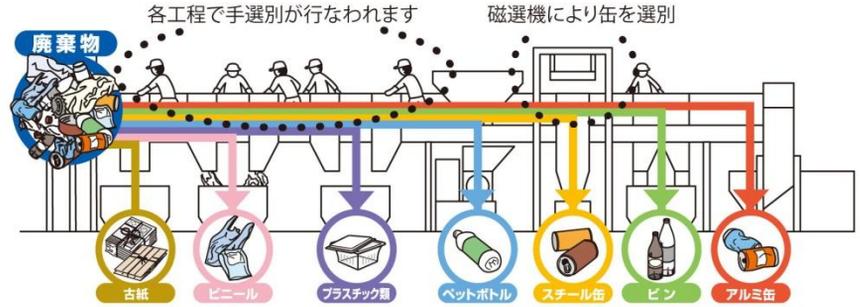
目標	①ガソリン燃費の向上:2016年末までに10%向上(2006年度比) ②排気ガスNOxの削減:2016年末までに-50%削減(2006年度比) ③低公害車導入の向上:2016年末までに70%導入
----	---

手段	具体的な内容	実施時期
エコドライブの推進	毎月車両別実績を分析し、目標に対する各自の進捗状況を管理する。	毎月
デジタルタコメーター・ドライブレコーダーの活用	毎週定期的に車両ごとに内容を分析し、安全運行管理および経済走行指導に活用する。	毎週
ヒヤリ・ハットチェックシートの提出活動	運転者よりチェックシートを回収し、状況を確認・記録し、研修会へ活用する。	1回/3ヶ月 (研修会)
低公害車の導入	導入車両は特定低公害・低燃費車両を導入する。	随時

# 本業としての取組み [環境面]

## 【リサイクル業務】

人による手選別と機械による磁力選別な分別された廃棄物を確実にリサイクルできるシステムにより、高いリサイクル率を実現しています。



リサイクル率	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
リサイクル率(%)	81.8%	99.7%	99.2%	99.2%
向上率(%) (2010年度比)	—	+17.9%	+17.4%	+17.4%

## 【電気・ガスの使用 (全社)】

電力・ガス使用量は、全社で2010年度比3%削減を目標に取り組み、2013年度大幅に目標を達成しましたが、2014年度は1月に新木場工場が稼働し増加してしまいました。

電気・ガスの使用	2012年度	2013年度	2014年度
エネルギー使用量(GJ)	2,690	2,386	3,544
削減率(%) (2010年度比)	-3.6%	-14.5%	+27.0%



## 【温室効果ガス排出量】

環境負荷低減の目標として、全社におけるエネルギー使用を温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。

温室効果ガス排出量	2012年度	2013年度	2014年度
CO <sub>2</sub> 換算(tCO <sub>2</sub> )	1,490	1,526	1,545
削減率(%) (2006年度比)	-13.8%	-11.7%	-10.6%

※CO<sub>2</sub>換算には、東京都が定める温室効果ガス量算定基準を使用。

### ◆目標達成への計画◆

目標	温室効果ガス排出量の削減: 2016年度末までに6%削減(2006年度比)	
手段	具体的な内容	実施時期
省エネ活動の推進	エネルギーの使用量を実績を分析し、目標に対する進捗状況を管理する。	毎月
作業効率化	各業務において、運行経路やリサイクル業務、事務作業の効率化を図る。	毎日
施設・設備の更新	施設・設備の更新を検討し、省エネタイプの導入を優先する。	随時

# 従業員・地域と共に [社会面]

CSR活動をする上で、最も重要なことは、取り組み内容を従業員一人一人が意識を持って日々の業務に繋げていくことであると考えています。

そのためにISOの取得も含め、日々の業務の中での教育、地域活動への積極参加により、内外ともに活動を広げていく取組みをしています。

地域の活動としては、区で開催される環境フェスタや区民まつりへ積極的に参加をしています。



## 「機密情報・個人情報保護に関する取組み」

三東運輸では、企業様から機密情報廃棄物の収集運搬及び、個人のお客様の廃棄家電（テレビ・冷蔵庫・洗濯機等）の受付業務にて多くの機密情報・個人情報を取り扱っています。

2009年には、それまで取り組んでいたISO14001に加え、ISO27001認証を取得しました。

今まで以上に安心・確実な情報セキュリティマネジメントシステムにより、お客様の機密書類やデータを社員全員で確実に取り扱うようにしています。



IS543652/  
ISO27001:2005

## 【全員参加で活動!!】

毎年、社内の取組みの研修及び緊急時の対応訓練を全従業員で行っています。

車両の交通安全、環境への取組みに加えて、震災・災害時における緊急対応の手順の確認等を行います。情報セキュリティへの意識もこの機会に向上を図ります。

## 「事業系「浅草のごみ収集システム」」

観光地として賑わう台東区浅草の街で、可燃ごみ・不燃ごみを毎日「夜間収集」により、まちの美化の10年以上お手伝いしています。また、毎年、台東区の【環境フェスタたいとう】へ出展し、地域の方へ取組み内容の紹介をしています。

### 「浅草のごみ収集システムのポイント」

- 夜間のうちに回収することで、カラスによるごみの散乱や放火等を防ぐことができます。
- 可燃ごみ・不燃ごみともに毎日収集しています。
- 専用ごみ袋を購入して頂くだけで、商店の方が気軽に利用できます。



# 今後に向けて

## 《 新木場に新リサイクル工場を設立！ 》

従来行ってきたリサイクルの精度を高めより多くの廃棄物を再資源化すること、またリサイクル技術の向上に伴い、より多くの品目を再資源化することを目的に設立致しました。

2014年1月より試運転を開始し、順次本格稼働をしています。これまでエコセンター・エコプラントで行ってきた一部業務を新木場の新リサイクル工場で行っています。



地球温暖化に代表される環境問題は、社会経済活動や生活全般に深くかかわるものです。大都市東京の廃棄物行政の一翼を担う当社としても、率先して環境・社会活動に取り組んでいます。

環境面では、省燃費運転及び事故防止に向けた従業員研修を積極的に行い、効果を上げています。また、全車両にデジタルタコグラフを取り付け、より意識向上を図っています。

社会面では、地域とのコミュニケーションを重視し、各区主催の環境フェア等に毎年積極的に参加してきました。

景気の行く先は相変わらず不透明ですが、ようやく明るさが見え始めたと思います。いかなる環境の変化にも的確に対応し、安全・確実でより質の高いサービスを常に提供できるよう体制を備えてまいります。

三東運輸株式会社 代表取締役 田口 勝久

### 《編集後記》

東京の江戸川区で創業以来60年以上にわたり、地域と共に本業を通して環境・社会への取組みを行ってまいりました。企業活動の説明責任・透明性を高め、これからも従業員が一環となり取組みを行うために、今回「CSR報告書」を発行する運びとなりました。

### 【問い合わせ先】

三東運輸株式会社 社長室宛

<http://www.santouunyu.com/>

〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3-12-6

T E L : 03-3670-3101 F A X : 03-3670-3320

### 【報告対象】

報告期間：

2011年4月1日～2015年3月31日

対象サイト：

本社・車庫・リサイクル施設

発行日：2015年11月17日